

平成31年1月～令和元年12月 奈良県宿泊統計調査 結果の概要

- ・延べ宿泊者数は平成22年(3,220,665人)に次ぐ
過去2番目の **2,823,334人**
- ・外国人延べ宿泊者数は過去最高の **529,414人**

奈良県宿泊統計調査の概要

- ・県内の宿泊動向を把握するため、四半期毎に調査対象となる宿泊施設に調査票を送付し、調査を実施した。
- ・営業形態(ホテル、旅館、簡易宿所、キャンプ場)別、6つのエリア別に延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、客室稼働率等を推計した。

推計方法

延べ宿泊者数

- ①エリア別、業態別に回答のあった宿泊施設の月別の「延べ宿泊者数」を「定員数に月中営業日数を乗じた数値」で除して、平均定員稼働率を求める。
- ②県内495件の宿泊施設のエリア別、業態別の総定員数を求める。
- ③②で求めた総定員数に①で求めた月別平均定員稼働率を乗じる。

外国人宿泊者数

- ①外国人宿泊者数の回答のあった施設の月中延べ宿泊者数に対する外国人宿泊者数の比率を求める。
- ②①で求めた比率に県内495件の宿泊施設のエリア別、業態別の総宿泊者数を乗じる。

外国人延べ宿泊者の国籍割合

- ①外国人延べ宿泊者数の国籍割合について、回答のあった施設の人数を合計する。
- ②各国籍別人数の合計を①で求めた合計で除して、割合を求める。

客室稼働率

「客室稼働率」の記載のある宿泊施設については当該数値を用い、記載のない宿泊施設については、「延べ客室稼働数」を「月末現在客室数に月中営業日数を乗じた数値」で除して求めた数値を用いた。

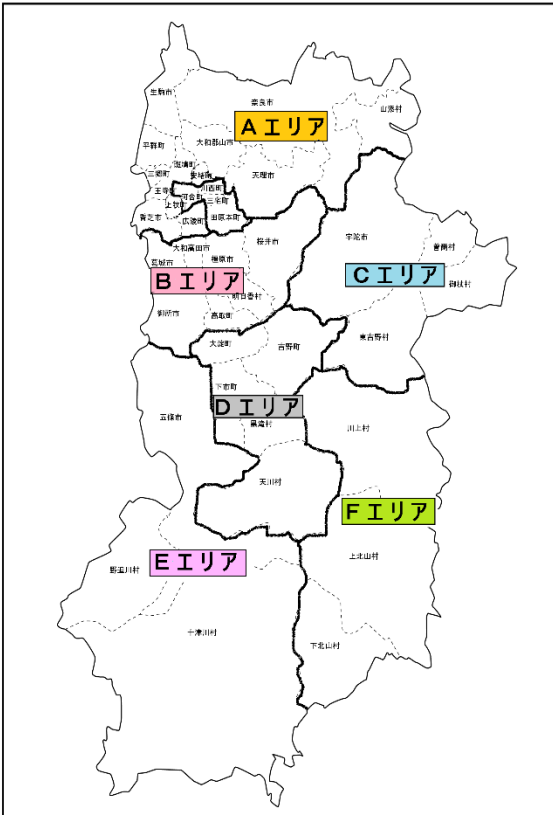
奈良県宿泊統計調査 エリア内訳

エリア別施設数等

エリア	宿泊施設数 (件)	客室数 (室)	定員数 (人)	有効送付先数 (件)	送付比率 (%)	回収数 (件)	回収率 (%)
A	211	5,290	14,044	211	100.0%	112	53.1%
B	63	906	2,575	63	100.0%	42	66.7%
C	41	246	1,243	41	100.0%	25	61.0%
キャンプサイト		103	570				
D	98	611	3,641	98	100.0%	51	52.0%
キャンプサイト		614	2,884				
E	52	456	1,533	52	100.0%	23	44.2%
キャンプサイト		26	120				
F	30	195	948	30	100.0%	12	40.0%
キャンプサイト		70	395				
合計	495	7,704	23,984	495	100.0%	265	53.5%
キャンプサイト		813	3,969				

*キャンプサイトは外数

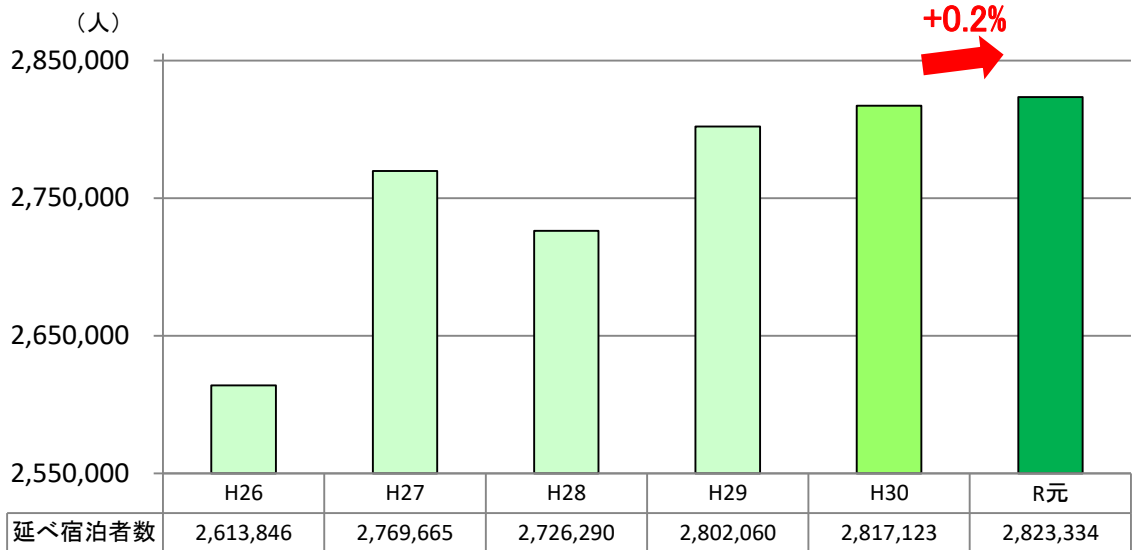
各エリアの市町村一覧



A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、上牧町、王寺町、斑鳩町、安堵町、広陵町、山添村
B	大和高田市、橿原市、葛城市、桜井市、御所市、明日香村、高取町
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

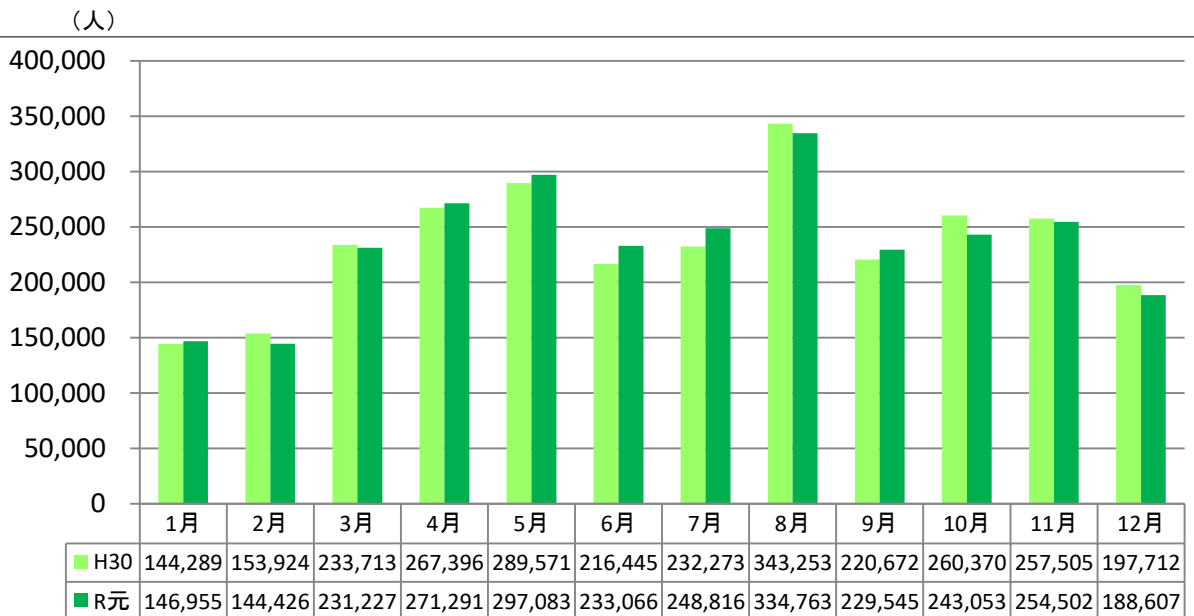
※対象宿泊施設無し：河合町、川西町、田原本町、三宅町

延べ宿泊者数の推移(H26～R元年)



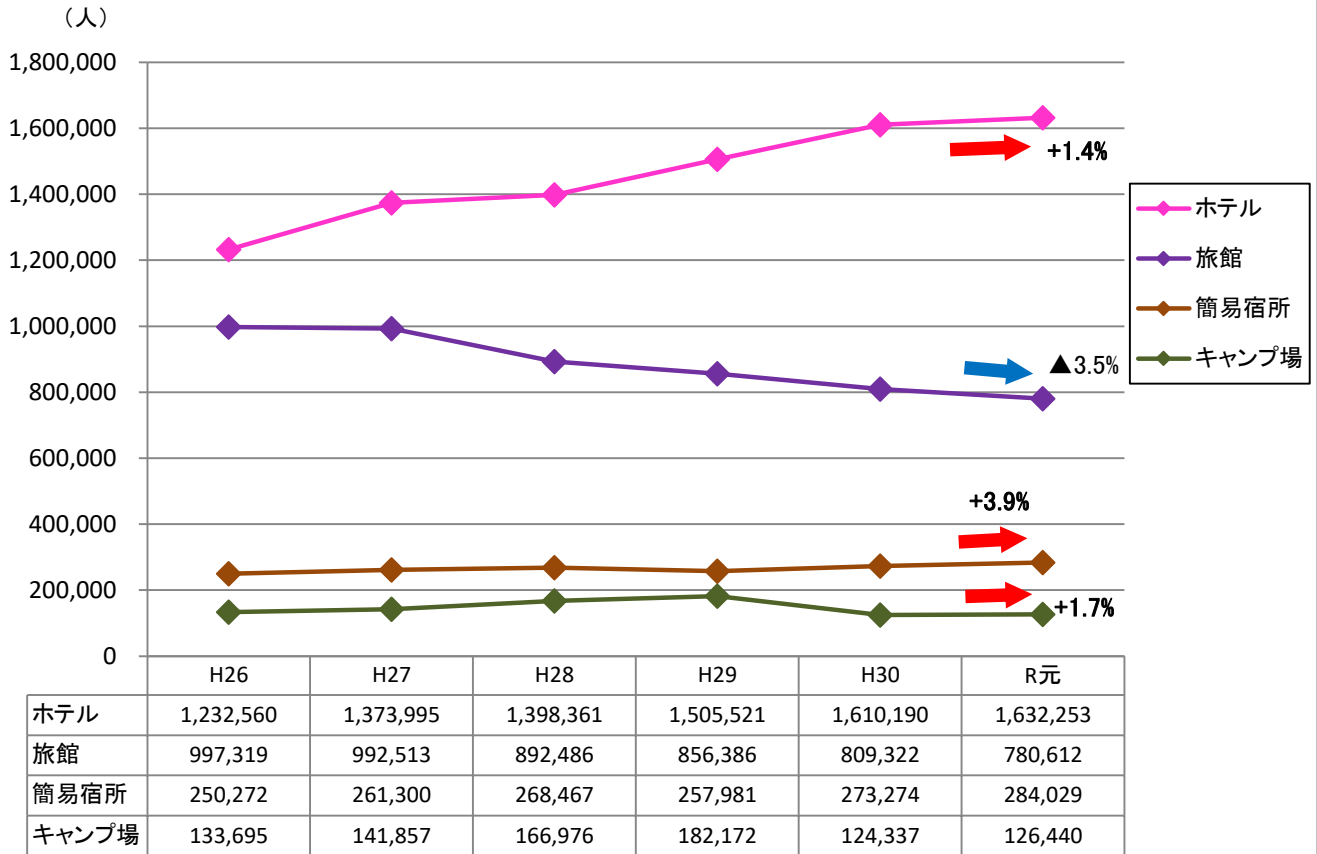
大阪、京都等の近隣府県に宿泊施設が多数開業した影響はあったが、外国人旅行者の増加により、対前年比で **6,211人(0.2%)**の増加。

延べ宿泊者数の月別推移



- ・8月が最も多く、1、2月がオフシーズンとなるのはこれまでと変わらない傾向。
- ・6月は、梅雨入りが前年より遅かったこと等が影響し、対前年同月比で最も増加(+7.7%)。
- ・10～12月は、10月の消費税増税が影響し減少。

業態別延べ宿泊者数の推移(H26～R元年)



対前年比較

ホテルの延べ宿泊者数は 1,632,253人。前年より 22,063人増加 (**+1.4%**)
 旅館の延べ宿泊者数は 780,612人。前年より 28,710人減少 (**-3.5%**)
 簡易宿所の延べ宿泊者数は 284,029人。前年より 10,755人増加 (**+3.9%**)
 キャンプ場の延べ宿泊者数は 126,440人。前年より 2,103人増加 (**+1.7%**)

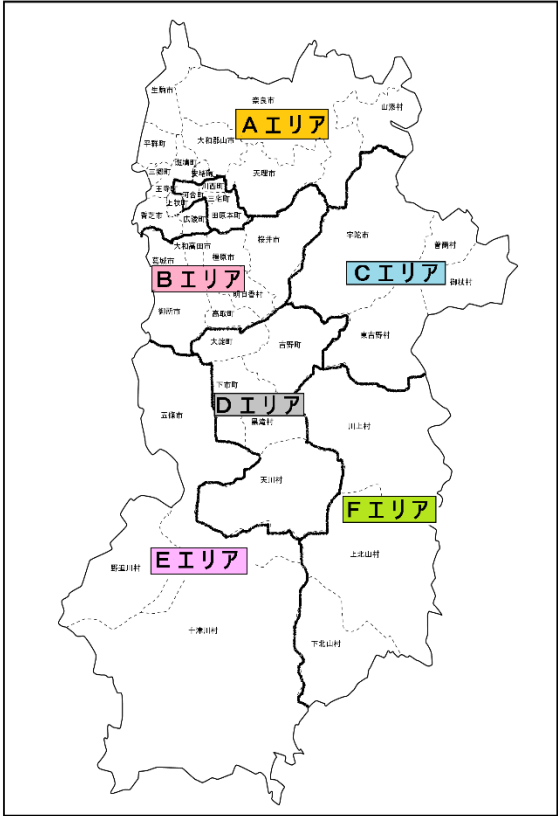
平成26年との比較

ホテルの延べ宿泊者数は 399,693人増加 (**+32.4%**)
 旅館の延べ宿泊者数は 216,707人減少 (**-21.7%**)
 簡易宿所の延べ宿泊者数は 33,757人増加 (**+13.5%**)
 キャンプ場の延べ宿泊者数は 7,255人減少 (**-5.4%**)

インバウンドの好調や、前年に比べ桜シーズンが長かったこと等の影響で、ホテルの延べ宿泊者数は対前年比**1.4%増加**、簡易宿所は**3.9%増加**、キャンプ場は**1.7%増加**したものの、旅館は、施設の休業や、他形態の宿泊施設が多数開業した影響を受け、前年比**3.5%減少**。

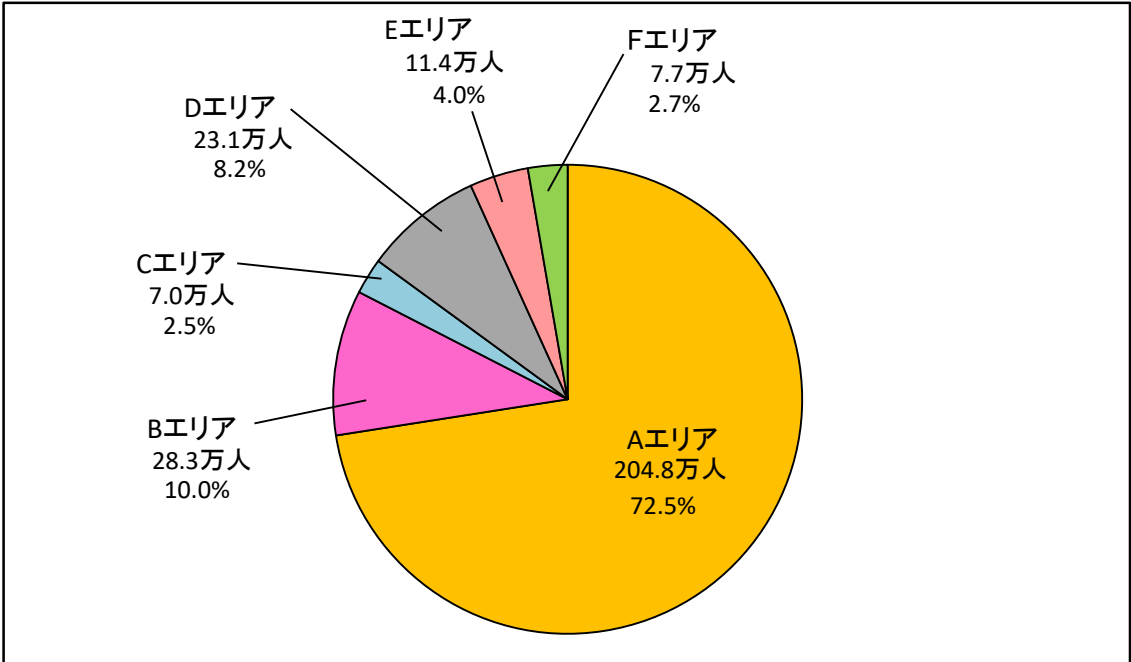
エリア別延べ宿泊者数の割合

各エリアの市町村一覧

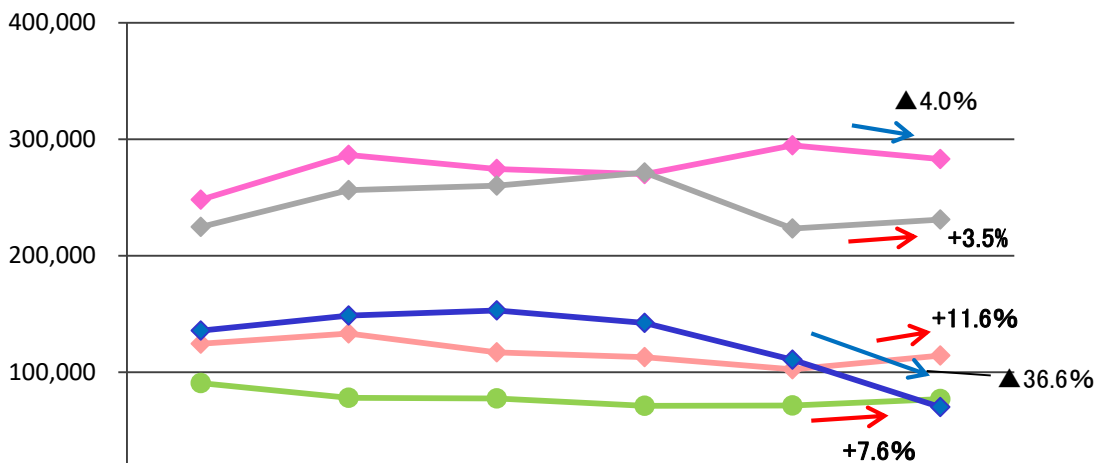
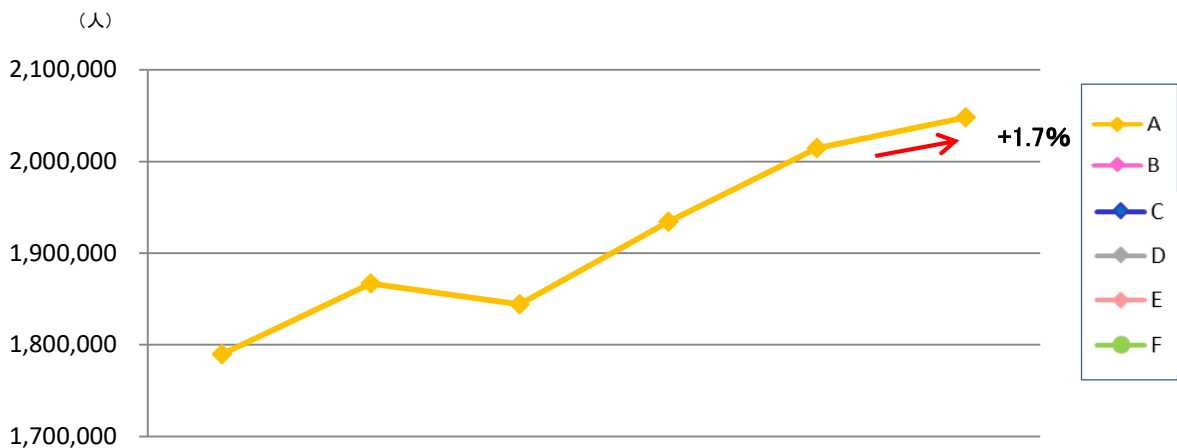


A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、上牧町、王寺町、斑鳩町、安堵町、広陵町、山添村
B	大和高田市、橿原市、葛城市、桜井市、御所市、明日香村、高取町
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し：河合町、川西町、田原本町、三宅町



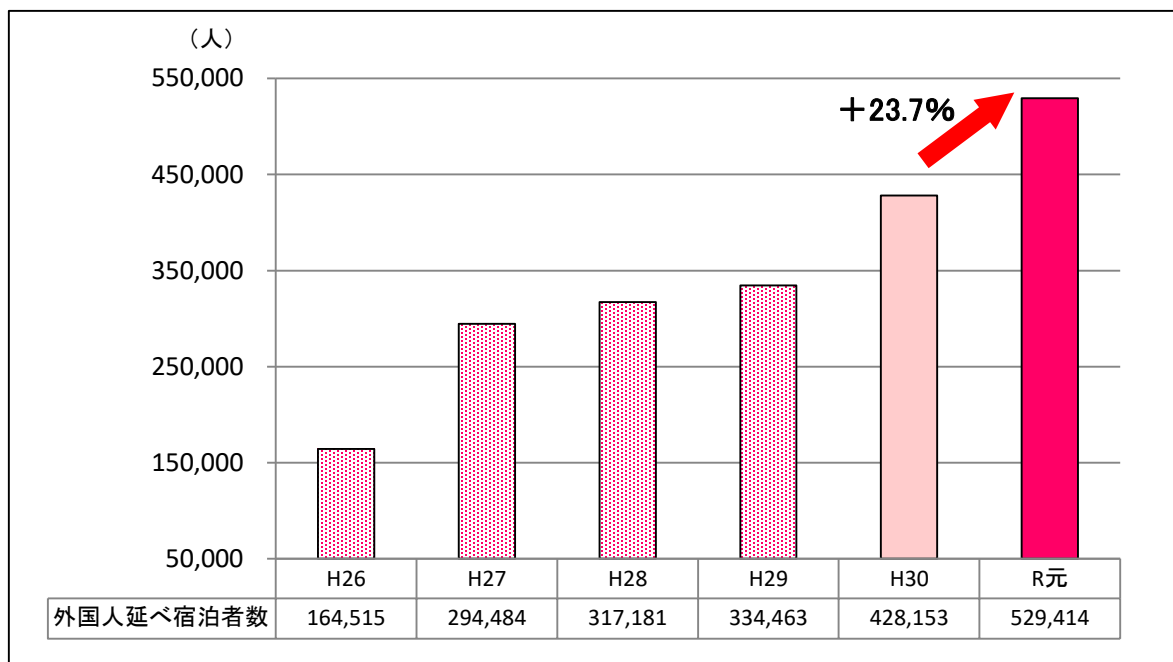
エリア別延べ宿泊者数の推移(H26～R元年)



	H26	H27	H28	H29	H30	R元年
A	1,789,752	1,866,902	1,843,982	1,934,182	2,014,369	2,047,844
B	248,101	286,579	274,514	270,122	294,741	282,942
C	135,741	148,560	153,138	142,430	110,726	70,146
D	224,848	256,353	260,229	271,369	223,409	231,209
E	124,594	133,136	116,930	112,859	102,404	114,320
F	90,810	78,135	77,497	71,098	71,474	76,873

- ・奈良市を含むAエリアは、インバウンドの好調、施設の新規開業等が影響し、**1.7%増加**。
- ・Bエリアは、国際情勢の悪化や台風の影響により、**4.0%減少**。
- ・Cエリアは、台風等の悪天候や、施設の休業等が影響し、**36.6%減少**。
- ・Dエリアは、桜の開花期間が長かった等の影響により**3.5%増加**。
- ・Eエリアは、近年の道路開通でアクセスが良くなった等の影響により、**11.6%増加**。
- ・Fエリアは、観光以外にスポーツ合宿に人気のある施設もあり**7.6%増加**。

外国人延べ宿泊者数の推移

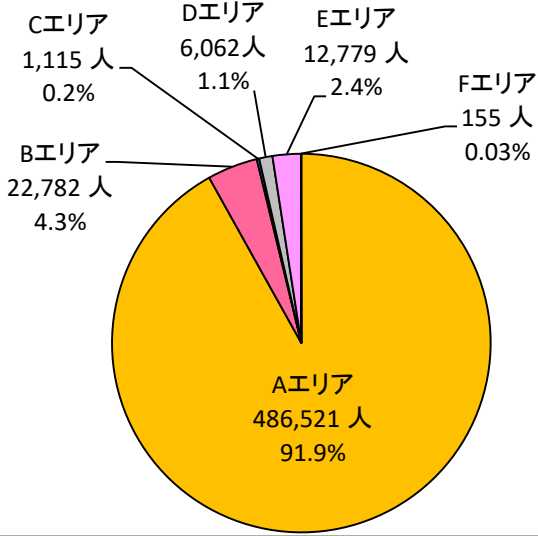


- ・外国人延べ宿泊者数 529,414人
- ・前年との比較 → 101,261人増加 (+23.7%)
- ・平成26年との比較 → 364,899人増加 (+221.8%)

ラグビーワールドカップ、インバウンド宿泊キャンペーンおよび桜の開花時期が長かった等の影響により増加。

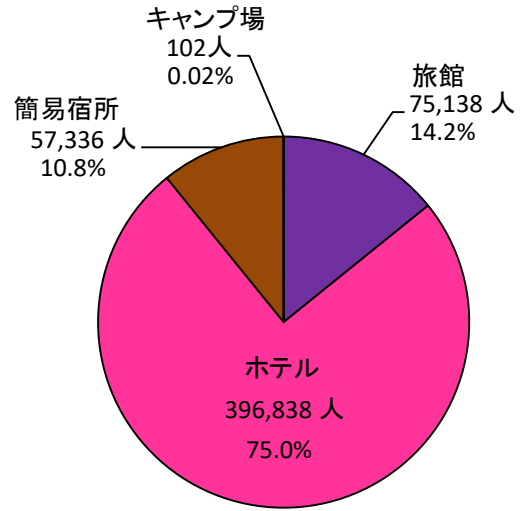
外国人延べ宿泊者数の割合

R元年 エリア別外国人延べ宿泊者数



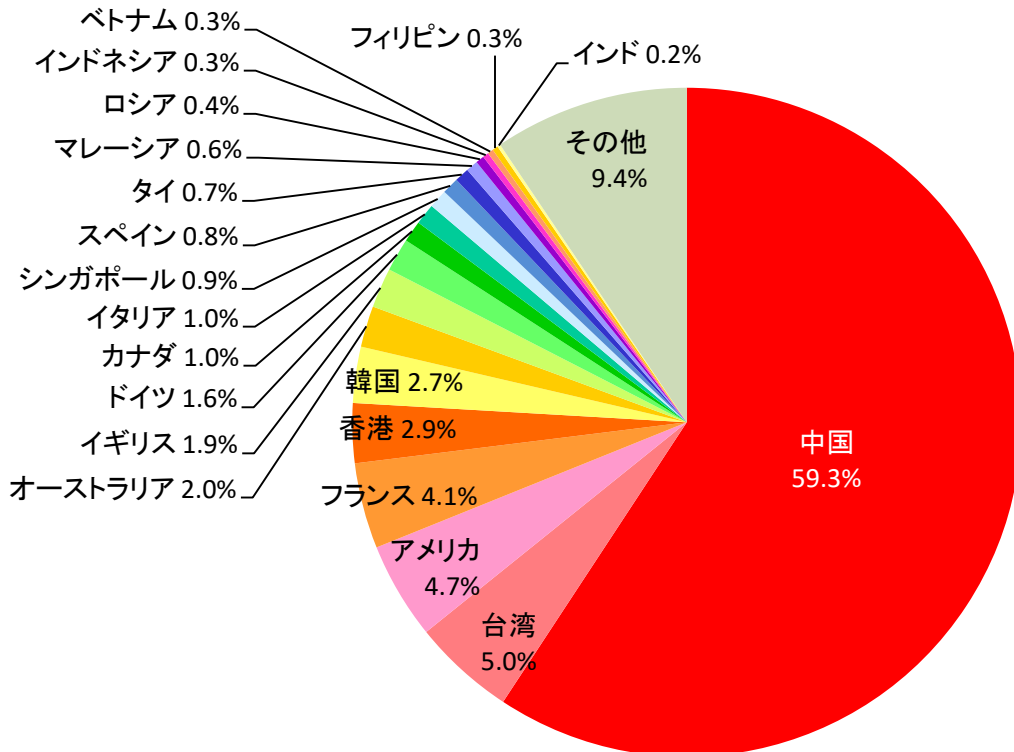
- ・エリア別ではAエリアに91.9%が集中
- ・Aエリアの外国人延べ宿泊者数は対前年比+28.3%

R元年 業態別外国人延べ宿泊者数



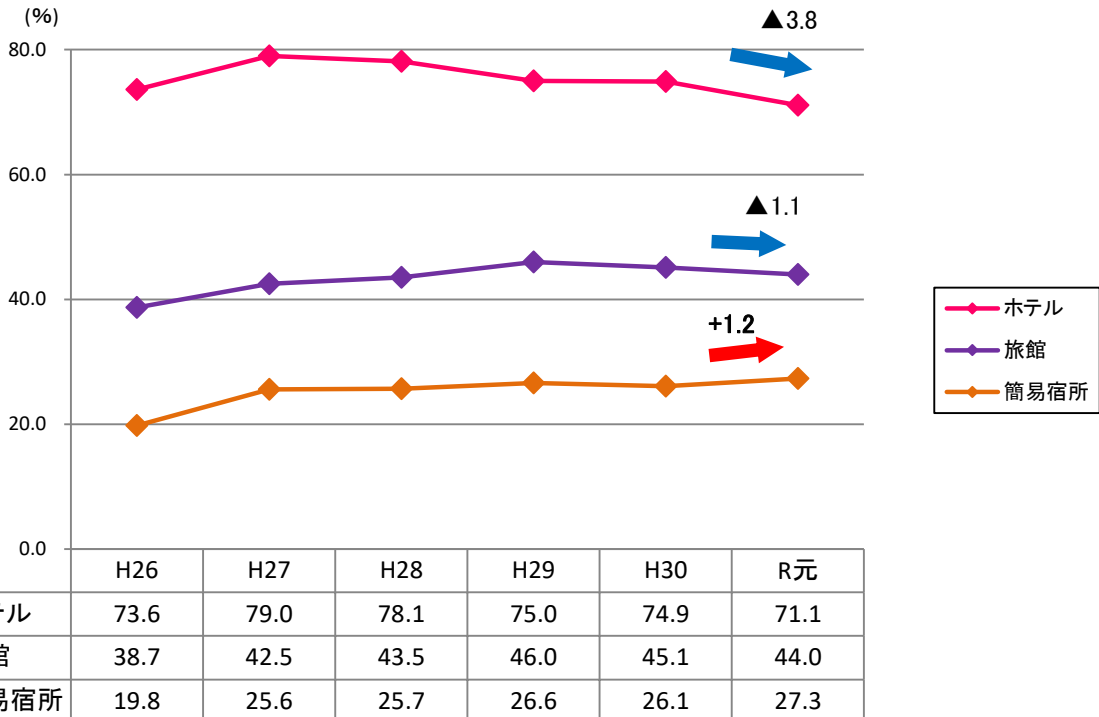
- ・業態別ではホテルに75.0%が集中
- ・ホテルの外国人延べ宿泊者数は対前年比+21.4%

外国人延べ宿泊者の国籍割合



外国人宿泊者の国籍割合は、中国のビザ発給要件の緩和も影響し、割合が前年51.1%から8.2%上昇。韓国は、前年5.7%から3.0%低下。

客室稼働率の推移(H26～R元年)



対前年比較

ホテルの客室稼働率は 71.1 %。 前年より 3. 8ポイント減少。
 旅館の客室稼働率は 44.0 %。 前年より 1. 1ポイント減少。
 簡易宿所の客室稼働率は 27.3 %。 前年より 1. 2ポイント増加。

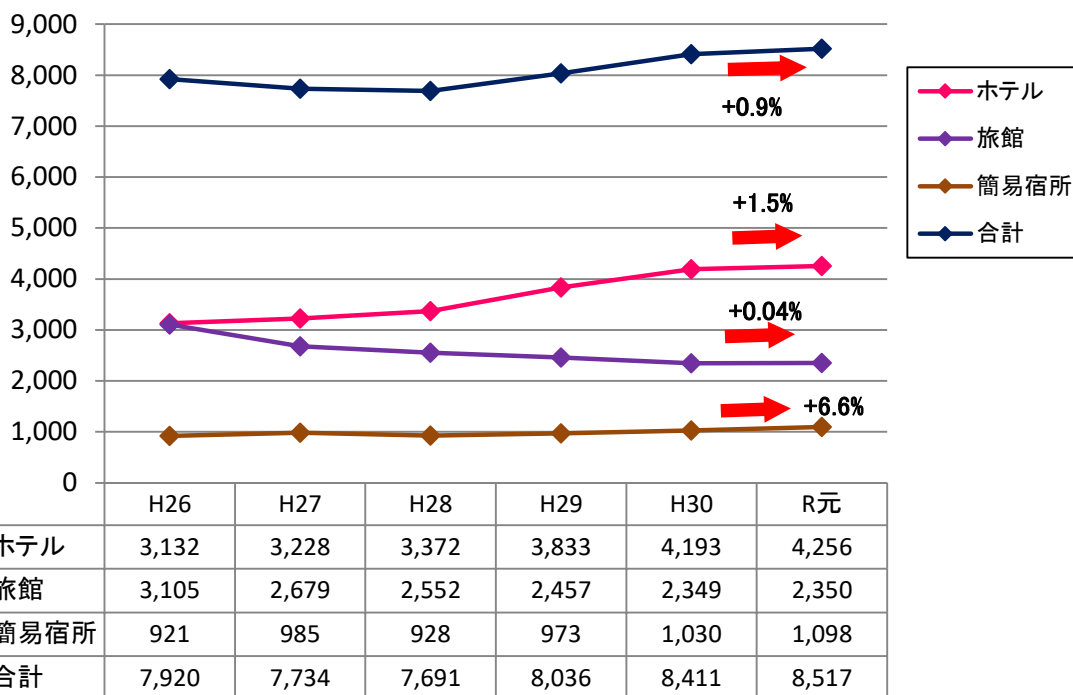
平成26年との比較

ホテルの客室稼働率は 73.6 % → 71.1 % 2. 5ポイント減少。
 旅館の客室稼働率は 38.7 % → 44.0 % 5. 3ポイント増加。
 簡易宿所の客室稼働率は 19.8 % → 27.3 % 7. 5ポイント増加。

- ・ホテルは、延べ宿泊者数が増加したが、宿泊施設の開業が続いたため、対前年比は低下した。
- ・簡易宿所は、リーズナブルな価格が好評で宿泊者が増え、新規開業施設もあったことから上昇した。
- ・旅館は、延べ宿泊者数減少の影響を受け、客室稼働率も低下した。
- ・平成26年との比較は、ホテルはインバウンド需要があるが、新規開業が多く、受け皿が増えたことで客室稼働率は低下した。旅館は、施設が減少しているため、客室稼働率は上昇している。簡易宿所は、延べ宿泊者数の増加が影響し、客室稼働率も上昇している。

業態別客室数の推移(H26～R元年)

(室)



※合計にはキャンプ場も含む

対前年比較

ホテルの客室数は 4,256室。前年より 63室増加 (+1.5%)
 旅館の客室数は 2,350室。前年より 1室増加 (+0.04%)
 簡易宿所の客室数は 1,098室。前年より 68室増加 (+6.6%)

平成26年との比較

ホテルの客室数は 3,132室 → 4,256室 (+35.9%)
 旅館の客室数は 3,105室 → 2,350室 (-24.3%)
 簡易宿所の客室数は 921室 → 1,098室 (+19.2%)

- ・ホテル、簡易宿所は新規開業もあり、それぞれ対前年比1.5%、6.6%増加。
- ・旅館は対前年比ほぼ横ばい。
- ・平成26年との比較は、ホテルは35.9%、簡易宿所は19.2%増加したが、旅館は24.3%減少。